

第2章 被害状況と災害廃棄物の量（平成28年10月末時点）

被害状況

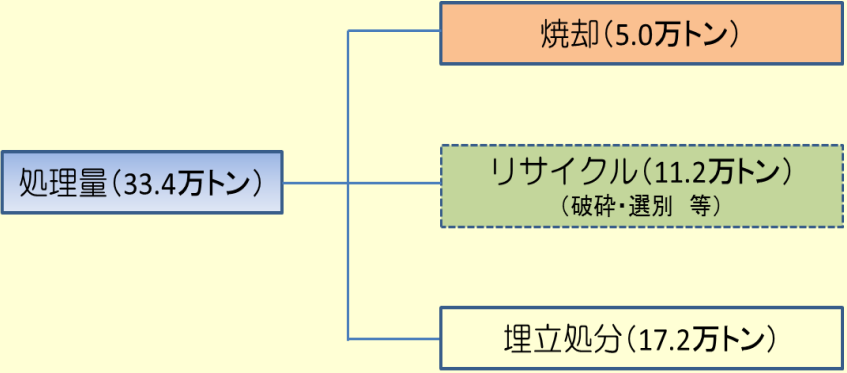
区分	戸数	備考
全壊	2,451棟	調査継続中（棟数には納屋を含み、事業所等を除く。）
大規模半壊	2,917棟	
半壊	11,917棟	
合計	17,285棟	

種類別災害廃棄物の量（見込み）

種類	発生量(推計)	備考
コンクリート類	596,000t	セメント瓦含む
木くず	242,000t	家具類含む
瓦くず	36,000t	焼き瓦
金属くず	35,000t	アルミサッシ等
混合ガレキ	237,000t	土砂混じりの解体残さ等
その他	117,000t	可燃物、畳、家電4品目、処理困難物等
合計	1,263,000t	

処理状況

- ▶ 平成28年10月末現在までの災害廃棄物の処理実績は33.4万トン（処理進捗率約2.6%）となっている。
- ▶ また、避難所を中心に設置された仮設トイレからのし尿については、総量14.3KLを市内の処理施設に運搬し処理した。



※今後、損壊家屋等の解体・撤去の状況等を踏まえ、災害廃棄物処理の各過程において災害廃棄物の量及び質に係る精査を行うこととしており、災害廃棄物の推計量について変動しうることに留意。

第4章 災害廃棄物の処理方法

二次仮置場の設置状況

排出区分	名称	面積	所在地	備考
片づけがレキ 解体がレキ	戸島仮置場	8.2ha	東区戸島町1489番地	設置
	城南町仮置場	0.5ha	南区城南町下宮地	設置
解体がレキ	熊本港仮置場	3.0ha	西区新港1丁目	2月設置予定
	扇田環境センター内	9.1ha	北区釜尾町811番地	設置
	北部仮置場	2.0ha	北区楠野町1046-2	設置
合計		22.8ha	—	—



仮置場の整備状況



※二次仮置き場については、平成28年10月1日時点で、熊本市内に4か所の二次仮置場を設置しており、災害廃棄物の発生・処理の進捗状況に応じて順次、箇所数を増やす。また、仮置場の周囲には防音シートや防音パネルを設置するとともに、破碎・選別等の処理に伴い粉塵等が飛散する恐れがある作業は仮設テント内で行うものとする。